

学習内容報告書 フォーマット

学校名	広島県福山市立鞆の浦学園
授業者	山口悠, 松田大輝, 宮原美也子, 九十九陽子, 佐藤緑

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

TOMO の磯わくわく発見プロジェクト

1-2. 学年

1～9年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

自立活動, 生活単元学習（知的学級のみ）

1-4. 単元の概要

1 海に親しむ(6時間)

【海洋資源】海藻, 海洋生物, シーグラスや貝殻

〈課題発見〉磯遊びを行い, 海に親しむ「海で遊ぶ」

〈情報活用〉磯遊びで見つけたものを図鑑やタブレットを活用して調べる

〈情報発信〉分かったことをイラストで表現する  
見つけたものを使って工作をする

2 海を知る(10時間)

【海洋資源】海洋ごみ, 海藻, 海洋生物

〈課題発見〉磯探検を行い, 海の実態を知る「海の恵み, 課題の把握」

〈情報活用〉図鑑やタブレットを活用して名前, 特徴, 食べ物, 飼育方法などを調べる

〈情報発信〉海洋ごみの分類・展示  
海洋生物の飼育

3 海を利用する(25時間)

【海洋資源】海洋ごみ, 海洋生物, シーグラスや貝殻

〈課題発見〉磯探検で見つけた物の活用「海洋ごみへの啓発, 海の生き物の飼育, 資源を利用した作品の販売」

ラーメン開発プロジェクト

〈情報活用〉何ができるのか調べる, 話し合う

〈情報発信〉海洋ごみの展示による啓発

海洋生物を飼育している水槽の公開, 関連書籍の展示

シーグラスや貝殻を使った作品の展示・販売

#### 4 海を守る(35 時間)

【海洋資源】わかめ、海洋ごみ

〈課題発見〉わかめの植え付け・刈り取り体験「わかめの魅力を伝えることで海を守ることを訴える」  
海を守るために他者(海外)と協働して課題を見つける

〈情報活用〉タブレットや書籍、漁業協同組合へのインタビューによるわかめや海洋ごみの情報収集

〈情報発信〉わかめレシピの作成

わかめを使った新たな商品開発

海洋ごみの実態をまとめたポスター

共同制作した「壁画」と「メッセージ」を世界に発信

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

鞆の浦学園は、瀬戸内海に隣接する鞆の浦の義務教育学校である。特別支援学級では、地域と連携を図り、自立活動や生活単元学習の時間を中心に、身近な海を素材とした単元学習を設定して、探究活動を進めてきた。個々の児童生徒の発達段階や特性に応じて、実践内容の系統性を検討しながら海洋教育に関する学びを展開してきた。磯探検や調理・小物作り等の体験活動を通して、繰り返し素材に関わるなかで生まれた課題意識を大切に、海との繋がりや海からの恵みを体感してきた。海や漁業協同組合を初めとする豊富な地域素材とのかかわりを通して、地域の人・もの・ことに誇りと愛着をもつ児童生徒の育成をめざす。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度


課題発見・解決能力： 様々な体験学習を通して、SDGs 達成にむけて、ふるさとの海に興味関心を持ち、関わろうとする能力

情報活用能力： 海産物・海洋生物についてICT機器や他者と関わることで、情報を収集し海の豊かさを守ることを発信する力

コミュニケーション能力： 地域のよさや課題、SDGs について、他者と協働しようとする能力

郷土愛： 世界に視野を広げることで、改めて地域のよさを実感し、地域に愛着をもつ

#### 1-7. 単元の展開 (全70時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
6	<p>①「海に親しむ」では、磯遊びや磯探検等の体験活動を通して身近な海や自然に親しむ活動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯に行き、磯遊びを通して海に親しむ(1回目)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯に行くための準備をする めあての確認、準備物とルールを決める</li> <li>・ふるさとの海に興味をもつ</li> <li>・磯探検の目的を明らかにする</li> <li>・実施のための安全計画(交通安全、活動中の安全)</li> </ul>

<p>10</p>	<p>②「海を知る」では、磯探検から「海の恵み、課題の把握」を行い、地域の海の実態を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の恵み」を知る(2回目) 海の生きもの、海藻、シーグラス、ごみ</li> <li>・「海の豊かさを守る」ごみの収集(3回目)</li> <li>・瀬戸内オーシャンズXキックオフシンポジウムワークショップ 自分のふるさとを知る 海やまちを大切にしてきたことを知る 海と人(私たちの生活)がつながる</li> </ul> <p>写真を使い、鞆のいいところを説明する</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のごみを思い出して、磯の状態を予想する</li> <li>・活動を振り返り、課題意識をもつ</li> </ul>  <p>海洋ごみの展示(校舎1階オープンスペース) 「鞆の浦ミニミニ水族館」(1階廊下)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって大切な場所を考え、写真におさめる <b>宿題 家族と一緒に写真を撮る</b></li> <li>・展示のごみとの関連性を考える</li> </ul>  <p>※みなとラボ、保護者、テレビ局 「大切な鞆のまち」の展示(校舎1階オープンスペース)</p>
<p>15</p>	<p>③「海を利用する」では、磯探検で見つけたものを活用して飼育や作品作り・販売、海洋ごみへの啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鞆の水族館」生きものの飼育</li> <li>・作品作りと展示、販売 公開研究会での展示と販売 地域の「軽トラ市」での販売 福山市なかよし作品展での展示</li> <li>・海洋ごみの展示</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の生きものを観察することで、飼育の課題に気付く</li> <li>・飼育を通して課題解決の方法を探る 人に聞く、調べる</li> <li>・「海の豊かさを守る」ための活動であることを確認する</li> <li>・商品作りの計画、役割分担</li> </ul> <p>水槽と書籍の展示(校舎1階通路)</p> <p>※他校の先生、学校関係者 ※地域、保護者 ※福山市役所1階ロビー、市内小中学校</p>
<p>8</p>	<p>④「海を守る」では、SDGsの視点を踏まえて探究学習を実施する</p> <p>わかめの養殖体験で、海の豊かさを守る具体的な方法を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかめの幼芽の植え付け・刈り取り体験</li> <li>・沖の海洋ごみを見せてもらい話を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目的を明らかにする</li> <li>・実施のための安全計画(交通安全、活動中の安全)</li> <li>・漁業協同組合の人から、わかめの生育に関する話を聞いて、課題意識につなげる</li> <li>・昨年、一昨年のわかめの状態を知り、わかめの成長を比較して、海の状況を感じとる</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を振り返り、今後の活動を考える (わかめの生育, わかめの活用方法, 海の環境)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海底ごみ・網にかかるごみの実態を聞くことで、課題意識を持ち、解決の方法を探る</li> </ul>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px;">     なんでこんなごみが？   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px;">     どこから来るん？   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px;">     誰が捨てるん？   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px;">     くさい   </div> <p>※漁業協同組合</p>
<p>15</p> <p>ラーメン開発プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラーメンを試食する</li> <li>・軋らしさを盛り込んだラーメンを考える 「わかめラーメン」を発展させ、各自が考えたラーメンをイラストにする</li> <li>・食品会社にプレゼンテーションする</li> <li>・商品にするための課題を考える ラーメンのトッピング, めん, スープ 価格, おいしさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福山ブランドのラーメンを試食してイメージをふくらませる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">     宿題 家族と一緒にラーメンを考える   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン内容を評価してもらう</li> <li>・商品化に向けて調整する</li> </ul> <p>活動内容の展示(プレゼンに使用したラーメン開発イラスト)(校舎1階通路)</p>  <p>※特産品販売店, 食品会社</p>
<p>27</p> <p>アートマイル協働学習プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの扱い方</li> <li>・セルフイントロダクション</li> <li>・SDGs 14番で探究学習・交流</li> <li>・プレゼンとディスカッション</li> <li>・テーマの決定</li> <li>・壁画の構成, 互いの海を調べて絵にする。</li> <li>・壁画作成</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介や伝えたい内容を考え, ビデオレター, ポスターを制作する</li> <li>・日本語で発表練習する</li> <li>・美術科, 英語科担当教諭に協力してもらい, 活動をすすめる,</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">     宿題 軋とモルディブの海を考えてキーワードと   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">     海のポスターを作成する   </div> <p>活動の報告(全校集会) 壁画の展示(校舎1階通路)</p> <p>※国際協同学習プロジェクト事務局 ※モルディブ Thaa juddeen School</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

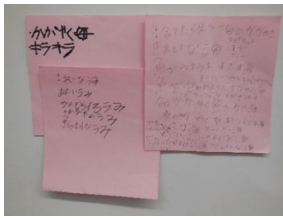

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

「海の豊かさを守る」ための、壁画のテーマ(メッセージ)を考える。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習内容を知る</li> <li>・ プレゼンテーションとディスカッションの内容を振り返る               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 決定したSDGs 14について調べる</li> <li>2 調べたことをまとめて相手に伝える</li> <li>3 相手のプレゼン内容を知る</li> <li>4 質問に答え、答えてもらう                   <ul style="list-style-type: none"> <li>→ モルディブの海の課題を知る ごみ問題、旅行者による被害、サンゴの生育変化、海岸浸食</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>・ 世界へ発信したい内容を各自が考えて、キーワードにする 自分たちの考える課題と相手(世界)の課題をつなげて考える</li> <li>・ 個人で考え、クラスごとで話したことを持ち寄り、協議する               <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きものが住める海</li> <li>・ きらきらした海</li> <li>・ ごみのない海</li> <li>・ 生きものを大切にする</li> <li>・ 生きものが死なない</li> <li>・ モルディブのような透き通った海水</li> <li>・ きれいな砂浜</li> </ul> </div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁画のテーマを考えるために、前時までの学習を振り返る</li> <li>・ モルディブの海が直面している課題を知る</li> <li>・ 「きれいな海のイメージ」とのギャップを考える</li> <li>・ 今までの学習から、自分はどうしたいのか、未来の海がどうだといいのか考える</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスごとに発表する(クラスで出た意見)</li> <li>・ 全体の意見をまとめる→「きらきら」「生きもの」</li> </ul>

- ・次時の予告
  - ・パートナー校と協議して壁画のテーマ(未来へのメッセージ)を決定する
  - ・壁画にするためにお互いの海を調べ、海を表現する
  - ・壁画の構成をみんなで考え、決定して制作へ

意見を融合させた決定したメッセージ



- ・訳した内容を分かりやすく伝える  
「もっと上手に海を管理することで次世代やその後のため、きれいな海を保つ。持続可能な未来のために海洋性を守らないといけない。」
- ・海を守るための行動を自分のこととして捉える

- ・学習の導入(1時間)
- ・自己紹介の準備(4時間)
- ・自己紹介(2時間)
- ・SDGsについて学習(1時間)
- ・テーマ学習(自校で調べ学習)(4時間)
- ・テーマ学習(パートナー校と協働学習)(4時間)
- ・メッセージ作成(2時間)
- ・壁画制作(自校)デザイン(8時間)
- ・壁画制作(パートナー校)デザイン
- ・学習の振り返り(1時間)

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・1～9年の各学級でテーマを分担し、プレゼンテーションの内容を考えた。それまでの活動でSDGs 14番にかかわって、現在の課題が何かを改めて考えた。鞆の浦の海、瀬戸内海、モルディブの海、地球の海と視野を広げて考え、特にモルディブの海を知ることができた。
- ・具体的に個人レベルでできることを考えることができた。
- ・調べたことや考えたことを伝えるために、どのように表現したらよいか工夫することができた。
- ・鞆の浦の海や日本の海の課題を見つけ、伝えることの難しさを実感した。

### 4. 今後の課題

- ・今回の活動で、世界へ視野を広げることができたが、環境問題を生活と結びつけることが必要である。
- ・体験活動を充実させる。
- ・児童生徒の主体的にかかわろうとする態度を育成する。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト